

AsciiDoctor-diagramサンプル

株式会社 あざらし

Version 0.1(Draft) 2016/12/12

目次

1.	セクション	1
	1.1. はじめに その1	1
2.	次に	2
3.	asciidoctor-diagramのテスト	3
	3.1. ditaaのテスト	3
	3.2. plantumlのテスト	4
	3.3. graphvizのテスト	6
4.	表のテスト	7
5.	ソースコード	Ç

1. セクション

= から始まる行はセクションの見出しになります。 ==, ===, … のように = を重ねるとレベルが1つ下がります。

1.1. はじめに その1

- **1** これはNOTEのサンプルです。
- これはIMPOTANTのサンプルです。
- これはCAUTIONのサンプルです。
- **へ**これはWARNINNGのサンプルです。

2. 次に

あああああああああああああああああああああ。

図 1による。



図 1. close up the azarasi

3. asciidoctor-diagramのテスト

3.1. ditaaのテスト

図 2はditaaのサンプルです。 ditaaではascii文字のみ使用可能で日本語は無理っぽい。形式はpngのみ。

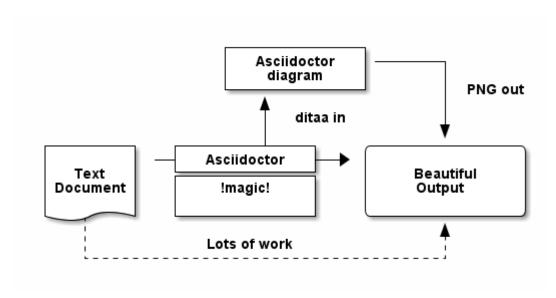


図 2. ditaa daiagram sample

3.2. plantumlのテスト

種類をpngとすれば日本語(UTF 8)でも記述可能。svgとするときはascii文字のみで。 asciidoctor-pdfで使用している日本語フォントに合わせれば、svgでもOKの様子。

図 3はplantumlのサンプルです。

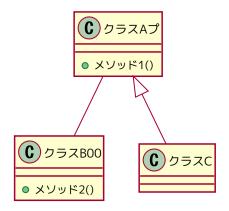


図 3. クラス図

図 4はシーケンス図のサンプルです。

シーケンス図のサンプル

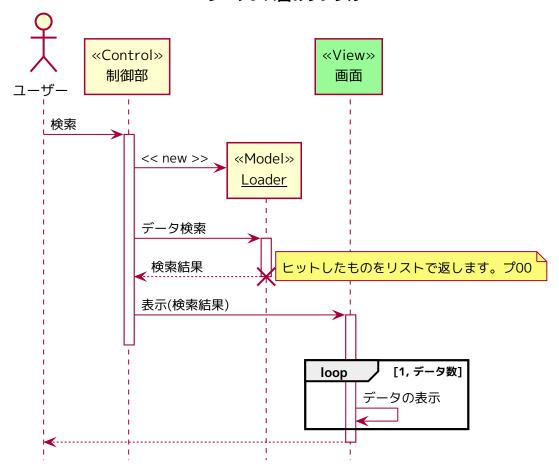


図 4. シーケンス図

3.3. graphvizのテスト

種類をpngとすれば日本語(UTF-8)でも記述可能。svgとするときはascii文字のみで。 asciidoctor-pdfで使用している日本語フォントに合わせれば、svgでもOKの様子。

図 5はGraphVizのサンプルです。

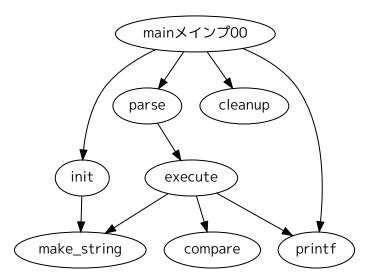


図 5. The graphviz block

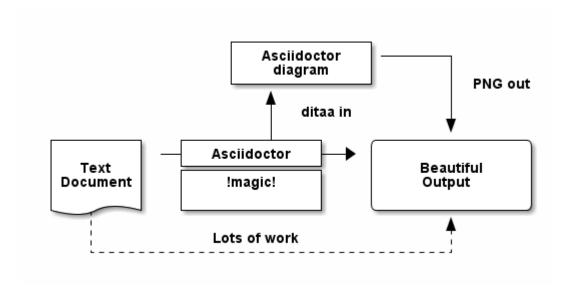


図 6. ditaa daiagram sample2

4. 表のテスト

表のサンプルです。

表 1に示す。

表 1. ほげほげ一覧

Col 1	Col 2	Col 3
1	Item 1	а
2	Item 2	b
3	Item 3	С

ああああ

表 2. ほげほげ2

Col 1	Col 2	Col 3
1	Item 1	а
2	Item 2	b
3	Item 3	С

表 3. ほげほげ3

Col 1	Col 2	Col 3
1	Item 1	a
2	Item 2	b
3	Item 3	С

表 4. Multiline cells, row/col span

Date	Duration	Avg HR	Notes

22-Aug-08	10:24	157	Worked out MSHR (max sustainable heart rate) by going hard for this interval.
22-Aug-08		152	Back-to-back with previous interval.
24-Aug-08	none		

表 2に示す。

表 3に示す。

表 4に示す。

表 5. Results

Users	Errors	Tests
8	0	1639

表5は何か重要なことを示している。

5. ソースコード

```
export default class MyComponent extends React.Component {
    render() {
        <div>Hello, World!</div>
    }
}
```